

日印インド太平洋フォーラム
「インドと日本：アジアの安定と進歩のためのパートナー」

ナマスカール（Namaskaar）、おはようございます。外務大臣の岩屋毅です。日本政府を代表して、第7回「日印インド太平洋フォーラム」の開催をお祝い申し上げます。

本フォーラムは、2016年以來、「トラック 1.5」外交の一環として、重要な役割を果たしてきました。

今回のテーマである「インドと日本、アジアの安定と進歩のためのパートナー」は、国際社会が厳しい安全保障環境に直面する中、大変時宜（じぎ）を得たものです。

既存の国際秩序が様々な挑戦にさらされている今、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた取組が益々重要になってきています。

そして、法の支配や民主主義などの基本的価値と戦略的利益を共有する日本とインドは、インド太平洋地域の平和と安定に大きな責任を負っています。

両国は、近年、様々な分野で協力を強化し、二国間関係を飛躍的に発展させてきました。

安全保障分野では、昨年、初めて、戦闘機の共同訓練や統合幕僚協議を実施し、インド太平洋における戦略や今後の日印防衛協力の可能性を共有しました。

本年8月には3回目となる日印「2+2」を開催し、日印「安全保障協力に関する共同宣言」を改定することを決定しました。また、重層的な共同訓練の実施や、防衛装備・技術協力といった、安全保障分野での一層の連携を確認しました。

経済面では、2022年に掲げた「今後5年間における対印官民投融資5兆円目標」の達成に向けて着実に進展がみられます。また、現地の日本企業が、インドを拠点として、将来の成長が期待できるアフリカなどの第三国への輸出にも取り組んでいます。

こうした日本企業の活動を日本政府としても支援することで、「Make in India, Make for World」に貢献し、両国のみならず、世界の成長と繁栄に向けて協働していきたいと思えます。

本年は「特別戦略的グローバル・パートナーシップ」10年目となる節目の年です。今後も、日本政府として、安全保障分野はもとより、経済、人的交流など幅広い分野においてインドとの関係を強化していく考えです。また、日印米豪を始めとする同志国による連携も一層発展させていきます。

最後に、本日の皆様による議論を通して、日印の更なる連携の可能性が広がることを心から期待しています。

ダンニャワード（Dhanyawaad）。ご清聴ありがとうございました。

（了）